

## ◇ 総務広報委員会 ◇

専務理事 郷司 将太  
委員長 中川 弘則  
副委員長 藤川 大士  
副委員長 南 幸佑  
委員 篠原 勇太

### <事業方針>

美馬青年会議所は、組織名にもある会議がとても重要です。会議で始まり、会議で完結するといってもおかしくありません。

しかし、青年会議所の性質上、単年度制で役職、役割が変わることや参加不足により、会議の内容に対して理解不足や伝達不足で共有ができてないのが現状です。そこで本年度は当委員会が会議をより良く行うため、総務広報委員会が筆頭に、事前配信のスケジュール管理及びメンバー全体に情報提供の徹底化・再構築を行います。

事業では、青年会議所のルール、仕組み、議案書の意味、書き方を理解できる例会並びに美馬青年会議所メンバーの意見交換できる場を設けます。そして、一人ひとりが役割を担当してもらい進行していきます。よって責任感が生まれ、理解、伝達不足が改善されます。その経験を積み重ねることにより、一人ひとりに当事者意識が生まれ自分の成長にもなり、組織の成長に繋がり、その結果、属人化の解消に結び付きます。

また、時代の変化で事業ができないことや制限がかかることもありましたが、我々美馬青年会議所は時代の流れに対応し、活動してきました。しかし、現状の課題として効果的な広報活動を行えていないという問題点もあります。だからこそネットワーク等の進化や変化によって対応してきたツールを活かし、誰にでも広報するのではなく、会議や事業ごとにどの広報が的確か判断し、対象候補を見極めて、発信力を高めていくことで、地域・人々に必要とされる広報活動を行うことができます。また、新たなツールにもチャレンジし、活用しきれていないツールも再構築していきます。

よって、未来に承継できる組織が構築されて、美馬青年会議所を知ってもらうことができ、会員拡大にもつながります。

最後に、基本理念でもある温故創新には、私の解釈ですが、温故は昔から続く変わらないことと捉えます。それは修練、奉仕、友情。そして創新は、青年会議所に対する自分自身の気持ち、考え方、向き合い方の変化と感じます。このことを思い行動することで新たな意思が生まれることができます。この意思を持つことにより情熱が未来に紡ぐと共に、総務広報委員会は誠心誠意邁進して参ります。

### <事業計画>

1. 会員拡大
2. 理事会の設営・運営（1月～12月）
3. 美馬青年会議所の広報（1月～12月）
4. 総会の企画・設営・運営（1月、9月、12月）
5. 例会の企画・設営・運営（4月）